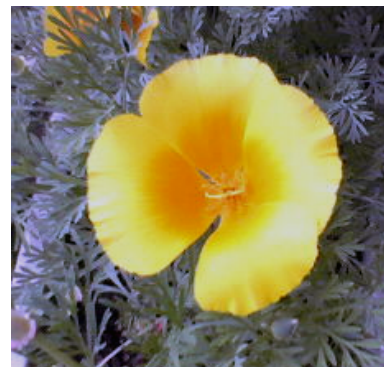


FUJIEDA ROTARY CLUB

藤枝ロータリークラブ会報

例 会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL 054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
URL <http://www.fujieda-rotary.org/> E-mail club1972@fujieda-rotary.org



【はなびし草】

写真提供：事務局

会長：石垣 善康 副会長：青島 彰 幹事：酒向 謙次 副幹事：大塚 博巳

第1904回

<ソング> 君が代・奉仕の理想
<ソングリーダー> 櫻井龍太君

【2010-2011年度 RIテーマ】
地域を育み
大陸をつなぐ
レイ・クリンギンシス

■ 会長報告

石垣 善康君

米山記念奨学生、ダス、プロタープ君の出身母国
バングラディッシュを紹介いたします。

バングラディッシュ人民共和国。

インドの東側に隣接していて、独立前は東パキスタンでした。ガンジス河に面し、世界 4 大文明の源であり、文明の発祥は古く初期の文明は仏教とヒンドゥー教の影響を受けていた。

18 世紀に入り、東インド会社により英国の植民地となった。

第 2 次世界戦争後、1947 年インドを含め独立した。其の時、宗教の関係で、ヒンドゥー教地域はインドとして、イスラム教地域は、インドをはさんで東 西パキスタンとして独立した。

しかし、言語の違い、政策の違いから内乱となり、インドの支持を得て、独立戦争を経て、1971 年バングラディッシュができたのです。

独立後は、数回の数回のクーデターによる政権転覆などがあり、政治が安定せず、又、多発するサイクロン被害や過剰な人口、政治腐敗などもあいまって、国の発展はおくれている。

日本の面積の三分の一にもかかわらず、人口は、世界 7 位の 152,000,000 人

(日本は 128,000,000 人) 人口密度は世界一位となっている。

日本は第 5 位。

近頃は、バングラディッシュの廉価な労働コスト(中国の三分の一)が注目され、繊維製品などの労働集約産業による輸出が増大している。

宗教はイスラム教が 83 パーセント、ヒンドゥー教が 16 パーセントであり、ちなみに、プロタープ君はヒンドゥー教信者です。

イスラム教は豚肉をたべてはいけない、反面ヒンドゥー教は牛肉を食べられない習慣です。

又、イスラム教のバングラディッシュは禁酒のため外国人は苦勞するそうです。首都はダッカ。以前日本赤軍の航空機ハイジャック事件の舞台となったところです。ダッカは人があふれており、旅行者にとって観光には適さないようですが、地方に行くと、ユネスコに登録の文化遺産が 2 件、自然遺産が 1 件あり、自然遺産はマングローブの群生地となっており、ベンガル虎が生息している。

バングラディッシュを訪れる日本人は年間 5,000 人観光客はほんとに少数です。現在は、香港、シンガポール経由などで 10 時間程度でいけます。

国旗は、日章旗と同じデザインーグリーン地に太陽＝グリーンはイスラムの色であり、また緑の大地を表している。そして太陽は独立の証。

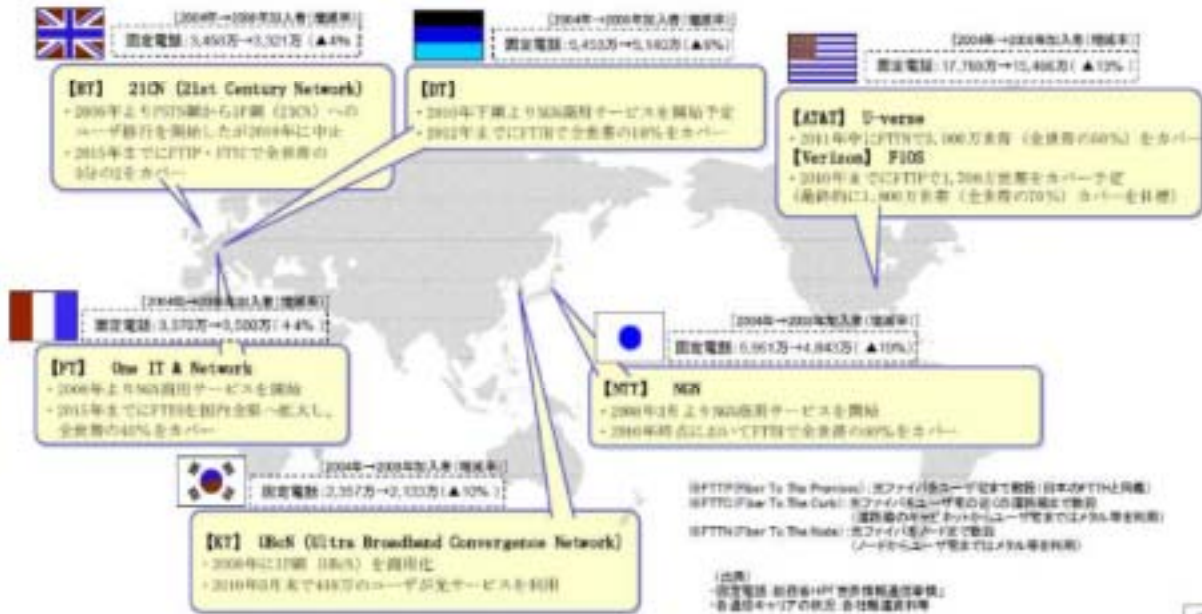
同じような日章旗に似た国旗は、パラオがそうです。パラオは、ブルー地に黄色 海と月をあらわしています。

国歌は、ノーベル文学賞受賞の詩人タゴールが作詩

<我が黄金のベンガルよ、私はあなたを愛します。早春にはマンゴーの香りが満ち溢れます。そしてベンガルの風が心に笛の音を響かせます >

2-1 ユーザーニーズの変化と各国キャリアの対応

●海外においても、PSTNを利用した電話サービスの需要減少と、IPサービスの需要増大が進展。
各国の通信キャリアも、ユーザーニーズの変化に合わせて、IP・ブロードバンド化を検討・推進。



3

2-2 世界に先駆けた光IP化の進展

●日本は、世界に先駆けて光IP化が進展。

【光ブロードバンドサービスの各国比較】

		日本	韓国	アメリカ	フランス	ドイツ	イギリス
世帯カバー・普及率等	世帯カバー率	90% (2009.3)	67% (2008.12)	13% (2009.3)	11% (2009.4)	0.4% (2009.4)	0.0% (2009.4)
	世帯普及率	38% (2010.9)	44% (2010.7)	3% (2009.6)	0.2% (2009.9)	0.04% (2009.9)	0.00% (2009.9)
	契約数	1,857万 (2010.9)	832万 (2010.3)	354万 (2009.6)	6万 (2009.9)	2万 (2009.9)	0万 (2009.9)
サービス	スピード	200M (2010.9)	100M	50M	100M	50M	40M
	1Mbpsあたり料金	31円	36円	214円	47円	137円	75円

①世帯カバー: 普及率等については6回分のデータ。サービスについては日本がFTTH日本、韓国: KT、アメリカ: Verizon、フランス: FT、ドイツ: DT、イギリス: BTの提供するサービスに比較

(出典)
 世帯カバー率: 日本は総務省公表値、各国はITU-D(2010) Indicators of broadband coverage
 普及率及平均契約数: 各国統計機関の取扱例を基に自社算定
 スピード: 1Mbpsあたり料金: 各社ホームページ、②③は総務省内外務省情報政策課による(日本はNTT東のフレッツ光ハイスピードV(200Mbps))

4

3 ブロードバンド普及に向けたNTT東西の取り組み

●NTT東西は、NTTグループの中期経営戦略「サービス創造グループを目指して」に基づき、ブロードバンドサービスの利用可能エリアの拡大と利活用促進に取り組んできたところであり、今後もブロードバンドサービスの普及拡大に積極的に取り組んでいく。

実績

- ① 光ブロードバンドサービスについて、エリア拡大とサービスの充実を図ってきた。
 - ・光サービスを世界に先駆けて本格展開し、現在約1,400万の光サービスを提供 ⇒参考1
 - ・光のエリアカバー率は設備競争を通じて全国の90%に拡大。更に現在、IRUによるエリアカバーを推進 ⇒参考2
 - ・2008年からNGNサービスを提供開始し、2010年度末までには、ほぼ既存の光エリアをカバーする予定
 - ・インターネットに加えて、IP電話、映像サービス等を充実（ひかり電話、フレッツ・テレビ等）
 - ・マンション内や室内の施工を容易にする光配線ケーブル等の研究開発・実用化を推進
 今後は、光サービスの更なる需要喚起に向けて、インターネット未利用・低利用ユーザの方々にも使い易い新たなサービス・料金を提供していく。
- ② 電子政府／教育／医療等のICT利活用について、従来から全国の自治体等での具体化に参画し、サービスの充実に貢献してきたが、今後も教育分野でのクラウドサービス等により積極的にICT利活用に取り組んでいく。あわせて、病院や学校等のニーズに応じて、高速大容量化に取り組む。
 - ・総務省フューチャースクール実験への参画をはじめとした教育分野での取り組み ⇒参考3
 - ・岩手県遠野市等における遠隔健康相談・保健指導をはじめとした医療分野での取り組み ⇒参考4
- ③ ゲーム機、電子書籍、ネットブック等、多様化する無線端末に対応し、宅内、外出先でシームレスなブロードバンド環境を実現可能な「光ポータブル」の提供を開始。また、ブロードバンド利用者の裾野拡大に向け、パソコン以外のネット対応端末（光LINKシリーズ）を拡充してきたことに加え、簡単操作で、様々な情報を複合的に提供する「光iフレーム（仮称）」を提供していく。 ⇒参考5
- ④ リモートサポート等の安心して利用できるサービスの提供やネット安全教室の開催により利用者のICTリテラシー向上に取り組む。今後も裾野の拡大に取り組んでいくとともに、アフターフォローのサポート体制を強化する。

今後

5

サービスの扱い・・・どうなるの？

●PSTNで提供している基本的なサービスについては、PSTNのマイグレーション後においても、IP網で提供を継続していく考え。

●ただし、お客様のご利用の減少が見込まれるサービスについては、お客様への十分な周知期間を取ったうえで、PSTNのマイグレーションや個々のサービスを提供する装置の寿命に合わせて提供を終了する考え。

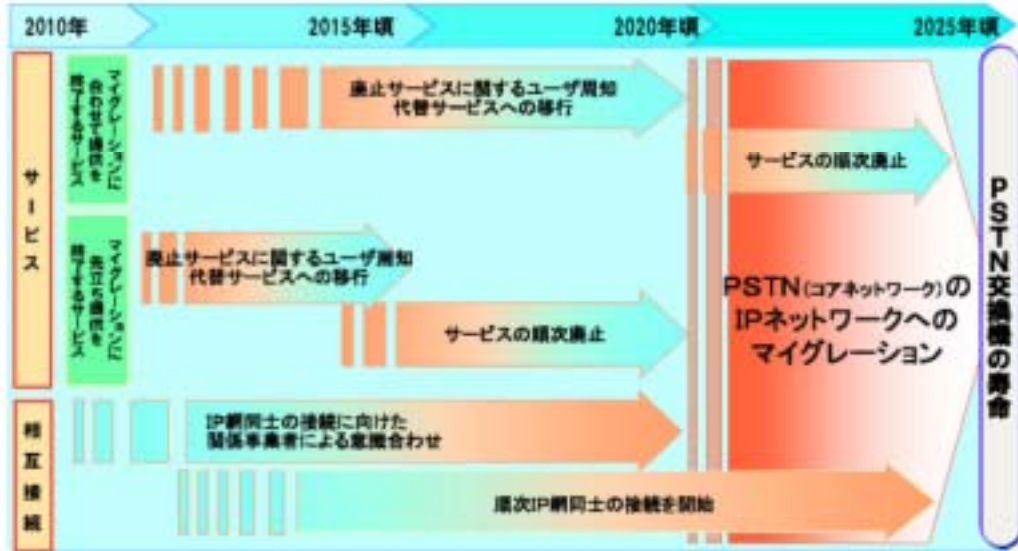
【PSTNサービスの見直し】

<p>基本的なサービスは提供を継続</p> <p>〔仕様変更や端末取替が必要となる場合があります〕</p>	<p>基本的な音声サービスの他、 公衆電話、110(警察)、118(海上保安)、119(消防)、117(時報)、177(天気予報)、104(番号案内)、115(電報)ナンバーディスプレイ、ナンバーリクエスト、迷惑電話おこしわり、キャッチホン、ボイスワープ、ボイスワープセレクト、フリーアクセス、#ダイヤル、代表、ダイヤルイン 等</p>
<p>お客様のご利用の減少が見込まれるサービスは提供を終了*</p>	<p>INSネット、ビル電話、着信用電話、支店代行電話、有線放送電話接続電話、ピンク電話、短縮ダイヤル、キャッチホンディスプレイ、ナンバーアナウンス、めんわばん、トーカー案内、発着信専用、ノーリングング通信等</p> <p>〔PSTNマイグレーションに先立ち順次提供終了見込みのもの キャッチホンE、マジックボックス、ボイスボックス、キームーディスプレイ、オフトーク通信、番号登録通信、ダイヤルQ²、接続通信サービス(コレクトコール等) 等〕</p>

*今後のお客様のご利用動向を踏まえ、必要に応じて、一部サービスでは代替サービスを推奨・開発

スケジュール

- マイグレーションに合わせて提供を終了するサービスは、2020年頃までに十分なユーザ周知と代替サービスへの移行を促進したうえで、順次廃止。
- マイグレーションに先立ち提供を終了するサービスについては、サービス毎の終了時期に合わせて、十分なユーザ周知と代替サービスへの移行を促進し、2020年頃までに順次廃止。
- 相互接続については、関係事業者間で意識合わせを行ったうえで、順次IP網同士の接続を開始。



最後に・・・

現時点における情報に基づいて10～15年後を大胆に展望したのですが、今後、国内外の経済情勢や通信分野での技術革新、お客様ニーズの変化及び競争環境など、様々な要素の変化により変更することがあり、その確実性を保障するものではありません。

(担当/大塚高君)